

図書室だより

令和3年 12月号
武庫小学校図書室

お気に入りの本を見つけよう！

皆さん、お気に入りの本はありますか？友だちが熱心に読んでいる本や「この本、おもしろかったよ！」と友だちに言われた本は自分も読んでみようかなと思う人も多いと思います。友だちに自分のお気に入りの本を紹介するといいですね。そして、「この本、ここがおもしろいよね？」など本のおもしろさを誰かと伝え合うと本を読むことがより楽しくなります。また、お気に入りの本を大人になってから読み返してみると、こんなセリフがあったはず…この後こんな展開だったような…こんな表現だったっけ…など期待どおり、期待はずれのストーリーに楽しさが倍増しますよ！読むときの自分の年齢や感情や環境で感じ方が変わるから本っておもしろいです。友だちに話したくなったり、何度も読み返したくなったりする1冊に出合ってくださいね！

☆新しく入った本☆



小学4年生の球真は野球チームのスーパースター。しょうらいは野球選手になってほしいときたいされているけれど、実はだれにも話していないゆめがあって…。野球のルールや豆ちしきも書いてあるので、野球を見たり やったりしたことのない子でも楽しめます。70ページほどの短いお話なので、本を読むのが苦手な子にもおすすめです！



おやしきにすむかぶのおひめさまが、ひがしの山のおそろしいこんにゃくいものオニにさらわれてしまいました。おひめさまをたすけようと立ちあがったのは、ちえとゆうきのある6人のやさいたち。いざ、オニたいじへ！えほんなので1年生からよめます！

他にも、たのしいお話がたくさん入ってきました。ぜひ図書室に見に来てくださいね☆

毎月23日は 家族読書の日



今月は「家族」をテーマに本を紹介します。
冬休みもあり、家で過ごす時間も多と思うので、ご家族と一緒に読んでもらえるとうれしいです。

「おばあちゃんがおばあちゃんになった日」

長野 ヒテ子/作



あかちゃんがうまれたので、あこちゃんのおかあさんは大いそがし。おねえさんになったあこちゃんのおむかえには、おばあちゃんがきてくれます。あこちゃんは、おばあちゃんがいつからおばあちゃんになったのかきになって…。

「また おこられてん」

小西 貴士/作 石川 えりこ/絵



かあちゃんに、まい日おこられてばかりのけんちゃん。ある日、かあちゃんが「もう あんたのおかあちゃんやめさせてもらいます」と言った。とうちゃんにそうだとすると…。

「妖怪一家 九十九さん」

富安 陽子/作 山村 浩二/絵



人間たちに混じって、団地生活を始めた妖怪一家。お父さんはヌラリヒョンで、お母さんはろくろっ首、子どもたちはサトリにアマノジャクに一つ目小僧。一番大切なルールは「ご近所さんを食べないこと」…。妖怪たちは上手にくらしていけるのでしょうか…？

「二日月」

いとう みく/作 丸山 ゆき/絵



ミルクが上手く飲めない妹は、長くは生きられないかもしれない、障がいが出るだろうとお医者さんに言われてしまいます。病気にもかかりやすく救急車を呼ぶこともあるけれど、少しずつできることが増えると家族みんなで喜びます。でも、妹を見ているとモヤモヤした気持ちも出てきて…。